

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」石川県庁前校			
○保護者評価実施期間	2025年12月3日			2025年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54名	(回答者数)	33名
○従業者評価実施期間	2025年12月3日			2025年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な資格や前職の経験を持った職員がいることをいかし、利用者様のニーズや特性に合わせたオーダーメイドでの支援が提供できるように努めていること。	保育士や教員などの経験を経て入社した職員や大学で心理や保育を学んだ職員があり、それぞれの経験を踏まえた多角的な視点からプログラムを組み立てる事ができている。それぞれの職員の経験を通してお互いに意見やアドバイスを出し合いながら、支援を組み立てる事ができている。	全ての職員がその利用者様の特性や支援状況等を把握していく事ができるよう、情報共有の機会を今後もしっかりと確保していくようとする。
2	学校や家庭での情報共有をしっかりと行っている事や、関わりを大切にしながら支援を進めていること。	支援後に必ずその日の支援の様子を保護者様と共有させて頂く時間を設け、お子様の家庭や学校での様子や、最近の困り事などを細かく情報を共有していく事で、支援内容の改善や向上に努めている。	担当と保護者様の間で共有されている情報に関して、全ての職員が確実に把握していく事ができるように、今後も、朝礼や終礼の時間等を適宜利用して、お子様の情報共有に努めていく。
3	学校等との連携を行なながら、支援にあたっていること。	保護者様からのご希望がある際に、こちらでの支援の様子や取り組み等を、学校や他事業所の方と共有する場を設けている。学校での様子等を詳細に知る事ができ、支援にその情報をいかす事ができている。	保護者様に、学校等他機関との連携を図れる事の周知を今後も継続してお知らせをしていき、連携の機会を増やせるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内のバリアフリー面で課題があること。	事業所がビルの2階にあることから、足の不自由な方や車椅子の方への対応が難しい。階段の幅も広くはなく、段差も急な部分があるため、体の不自由な方への対応が難しくなっている。	捕助が必要な際は駐車場まで職員が迎えに行くなどの対応を行なう。また、近隣の系列校舎（金沢ベイエリア校）は平屋の建物でサービスを行なっているため、そちらへの紹介等も必要に応じておこなっていく。
2	事業所の環境面での課題があること。	各部屋への空調の調節の関係で各個室の上部が完全に仕切られていないため、各部屋の支援中の声等が別の部屋に届いてしまう事がある。大きな音等に過敏に反応されるお子様の支援の際には、注意をする必要がある。	周りの音に敏感な利用者様の支援時間を調整したり、場合に応じて仕切られていない部分を覆って音の響き等を低減させるなど、その都度対応を行なっていく。
3	保護者会等を含めた保護者同士の交流	以前は、小学校に入学を控えている保護者様同士の交流会や、高校受験や進学を控えている中学生の保護者様同士の交流会等を行なっていたが、新型コロナウイルス蔓延に伴い、感染予防の観点から開催を控えている。	今後、保護者様の要望やニーズに応じて、保護者様同士の交流の機会を設けていく。

		公表	保護者等からの事業所評価の集計結果							
事業所名		こどもサポート教室「きらり」石川県庁前校						公表日	2026年1月23日	
					利用児童数	54名		回収数	33名	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。			26	6	0	1	利用人数によっては多少狭そうだと感じることがある。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。			32	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。			22	8	0	3	共有スペースでボール遊びなどの遊び方に少し危険を感じることがある。	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。			30	3	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。			32	1	0	0		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。			31	0	0	2		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。			33	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。			31	0	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。			32	0	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。			27	4	0	2		
支援の継続性・効果	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。			6	5	8	14		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。			32	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			14	4	4	11		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。			33	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。			29	3	1	0		

保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	7	17		ご意見を頂きありがとうございます。今年度は保護者様を対象とした交流会は開催する事ができませんでした。来年度以降は保護者様のご希望や必要に応じまして、開催を検討していきます。また、祝日等に行っております「きらりひろば」では、きょうだいの方の参加も可能です。実際に参加されている方もいらっしゃいますので、ご希望がありましたら、職員までお知らせください。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	4	0	3		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	2	0	1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	3	2	13		ご意見をいただきありがとうございます。行事の様子やお子様たちの様子を、ブログを通してお伝えしています。ご覧いただけましたら幸いです。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1	0	1		
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	4	0	5		
非常時等の対応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	1	0	6		毎月1回、避難訓練を行っております。3月・9月にはお子様も対象としまして訓練を行っております。機会がありましたらぜひご参加頂けたらと思います。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	3	0	4		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	2	1	6		
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	33	0	0	0		ご意見頂きありがとうございます。多くの利用者様に安心感をもって通所して頂いているとの事で、職員一同嬉しく思っております。今後も一人でも多くの方にそのように思って頂ける様、支援に努めてまいります。
満足度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	1	0	0	幼稚園の時から同じ先生で、親子共々安心しています。	ご意見をいただきありがとうございます。保護者様とお子さまが安心して通ってくださっているとのこと、とてもうれしく思います。今後も安心して過ごせる場所づくりに努めてまいります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	33	0	0	0	いつもありがとうございます。	あたたかいお言葉ありがとうございます。支援に満足いただいていること大変うれしく思います。今後もお子さま一人ひとりに寄り添った支援を続けてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果				
		公表日 2026年 1月23日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者様の特性や、その日に行う活動内容に配慮し、活動の場を設定している。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員の配置基準に則った配置数になっている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		階段に手すりはあるが、小さいお子様には階段の段差が高い。事業所内は段差をなくし、怪我や事故の発生リスクを抑えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除や消毒に加え、定期的に安全面の点検を行い、心地よく過ごす事ができるように取り組んでいる。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用されるお子様の特性に合わせて、個室やフロアなど活動場所を選択できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的にミーティングを行い、情報共有を行う事で、業務の振り返りや見直しを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートで寄せられた意見等を全体で共有し、事業所運営及び環境の改善に役立てている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを開き、業務の進め方について共有し、改善点等がないかを確認している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		連携機関である発達支援研究所が主催している定例研修に参加し、資質向上を図っている。また行政が主催の研修に今年度も参加している。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		行政が指定する方法に沿ってプログラムを公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用開始前に行うアセスメントで得たご利用者様の特性等の情報や、相談員からの意見や情報を基に計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		定期的なモニタリング会議の場だけではなく、日常的に職員がお子様の情報について共有できる場を設けている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿って支援を行っている。また、定期的にモニタリング会議等の場で、支援状況について確認を行っている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		会社で指定されているアセスメントツールを使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの内容に沿って適切に対応している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的にミーティングを開催し、全職員でプログラムの立案及び見直しを行っている。	

～ 援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様の状態や特性によって柔軟にプログラムを変更するなどして対応している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育の他に、小集団活動にも留意して、計画を作成し、支援を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々職員間で支援配置や活動プログラムについて情報共有を行い、支援に臨んでいる。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後に児発管が担当指導員から報告を受けたり、終礼時に連絡事項として情報共有を行ったりするなど、全職員が利用者様の情報を把握できるようにしている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の支援の記録を取り、支援内容の検証や改善に取り組んでいる。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行ったり、保護者様と面談させて頂いたりし、状況を確認した上で、支援計画の見直しを行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		保護者様と利用者様のニーズに合わせて支援を行っている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子様の状態や特性によって複数のプログラムを用意し、自己選択してもらう場を作るなどの工夫を行っている。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的に児発管が会議に出席しているが、お子様の状況によっては担当指導員もその場に参加している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様からのご要望に応じて、学校等との連携を行っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様からのご要望があった際には、学校訪問や情報共有等を行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		保護者様からの要望があった場合には行っているが、今年度に関しては実施していない。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談員を介して支援内容等を他障害福祉サービス事業所と共有している。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今年度に関しては、スーパーバイズや助言を受ける機会はなかったが、必要がある場合は機会を設けていきたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○		小集団イベントにて他利用者様やそのご兄弟（姉妹）と関わる機会はあるが、児童館等の他機関と交流する機会は持っていない。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		2025年11月に行われた金沢市主催の事業所連絡会に参加している。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後にその日の様子をお伝えするフィードバックの時間をしっかりと確保することで、保護者様とお子様の状況について確認する場を設けている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ご家族の相談に応じることはあるものの、ペアレントトレーニングという支援までは行っていない。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。また、常時利用者負担等についての問い合わせに応じている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成前に、保護者様に面談し、お子様の現在の様子や保護者様のニーズを聞き取っている。	

保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		新規契約時と半年毎の契約更新時に計画にサインを頂き、同意を得ている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		適宜、相談に応じており、必要に応じて助言を行っている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		以前は、保護者様同士が交流する会を開催していたが、新型コロナ感染症流行後は、感染対策として開催を控えていた。今後は保護者様のご要望を踏まえて開催を検討する。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情等があれば迅速に対応している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ上に小集団イベントの活動内容や、防災訓練の様子等を公開している。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫に個人情報を保管している。また、外部に情報を提供する際は、保護者様に同意書を頂いている。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚ツールを用いる等、利用者様や保護者様一人ひとりに合わせて対応している。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民参加型のイベントは行っていないが、イベントチラシや校舎のパンフレット等を、店舗や園・学校等に設置してもらい、定期的に挨拶にも伺っている。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルについては職員に周知している。また、感染症拡大防止策等について保護者様にも周知をしている。	
非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画を作成し、月に1回、防災訓練を行っている。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回利用前のアセスメントの際に、服薬や予防接種、てんかん等、お子様の健康状態に関して必ず確認を行っている。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食物アレルギーに関しては初回のアセスメント時に確認をしているが、事業所では食事提供を行っていない。必要がある場合には医師の指示書等を基に対応を行う。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画を作成し、計画に沿った対応を行っている。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		初回契約時に安全確保に関する説明を行なっている。取り組み内容に関して変更がある際は適宜保護者に周知を行っている。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で共有し、再発防止策について職員間で共有している。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		行政の行う虐待防止研修に参加している。また、法人内でも年に3回研修の機会を設けている。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		計画への記載に加え、契約時に身体拘束について保護者様に説明を行なっている。	